

株式会社 LIXIL

株 主 通 信

2021年9月中間ご報告

2021年4月1日～2021年9月30日





取締役 代表執行役社長 兼
Chief Executive Officer

瀬戸欣哉

➤ LIXILは、収益性の高い 事業構造への転換を進めるとともに、 ESGへの取り組みを加速しています

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

上期の決算概要

2022年3月期第2四半期は、上期としては過去最高となる最終四半期利益*を達成することができました。アジア太平洋地域でのロックダウンや部品の調達難、輸送コンテナ不足による物流費の高騰や生産と出荷の遅延など、厳しい事業環境に直面したものの、自宅で過ごす時間をより快適にしたいという需要を的確に捉え、国内における構造

改革を加速したことで増収増益となりました。

売上収益は、欧米を中心とした旺盛な需要継続により、前年同期比5.4%増の6,962億円となりました。事業利益は、欧米での売上伸長と、日本事業の構造改革の進展により、373億円と前年同期比142.5%の増益を果たしました。また、従来から取り組んできた、さまざまな体質改善施策が定着し、結果として表れはじめ、原材料費の高騰にもかかわらず、売上総利益率・事業利益率ともに改善しました。

当上期は想定を超える事業環境の変

化に直面しましたが、多くの問題は概ね解決に向かっていきます。下期も、引き続き先行きが見通しにくい状況ではありますが、旺盛な需要に対応できるよう安定供給に努め、通期では年初計画を達成できるよう取り組んでまいります。

※親会社の所有者に帰属する四半期利益

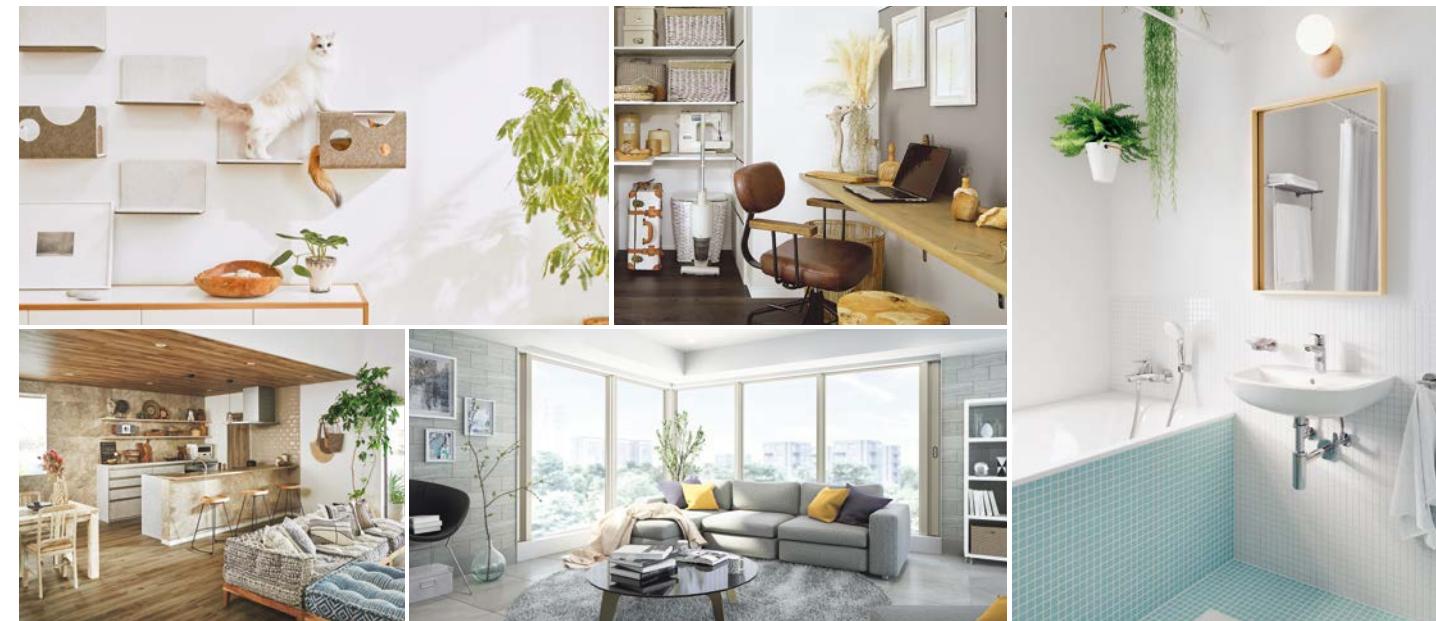
LIXILは、経営の基本的方向性に沿って優先課題に注力し、より機動的で起

業家精神にあふれた組織文化の構築と、生産性を向上する改革を進めるとともに、ESGへの取り組みを加速していきます。こうした取り組みは収益性の改善やステークホルダーに対して生み出す価値の向上につながっています。

リフォーム事業の進展による 国内の収益性改善

国内事業については、収益性を改善し、

持続的な成長を遂げるために、生産性を高めるとともに、リフォーム向け商品の売上拡大に注力しています。国内人口や新築市場は減少傾向ですが、コロナ禍で在宅時間が増えたことでリフォームに対する消費者の関心は高まっており、生活の質を向上させるためのリフォームが増えています。当社は、テレビCMなどによりリフォーム需要をより一層喚起し、商品の拡充や、オンラ



表紙：トイレ / サティス、P02：上段左より：キャットウォール / 猫壁 (にゃんぺき)、インテリア建材 / 集成カウンター、バスルーム / GROHE Baulines、下段左より：タイル / エコカラット、キッチン / アレスタ、ビル用サッシ / PRESEA-S、縦型換気 / シーガルスリット

目次

社長メッセージ	01	株主さまアンケート結果	15
LIXILが提案する豊かで快適な暮らし	05	株式の状況	17
営業報告	11	会社概要	18
セグメント情報	12	報告書 発行のお知らせ	裏表紙

第2四半期累計(上期)の実績および通期の業績予想

(単位:億円)

	第2四半期累計(上期)実績			通期実績・予想		
	21年3月期実績	22年3月期実績	前年同期比	21年3月期実績	22年3月期予想	前期比
売上収益	6,605	6,962	5.4%	13,783	14,400	5%
事業利益	154	373	142.5%	573	800	40%
親会社の所有者に帰属する当期/四半期利益	109	257	136.5%	330	470	42%

インショールームの強化等によって需要に应运えています。

ウォーターテクノロジー事業では、新たな価値を提供する水まわり商品の拡充に注力しています。今年10月には、マンションリフォーム用システムバスルームの「リノビオV」の刷新や、3つの吐水モードを搭載した多機能シャワー「エコアクアシャワーSPA」など、付加価値型の商品を販売し、リフォーム事業による収益性改善に取り組んでいます。

ハウジングテクノロジー事業では、家全体をまるごと断熱リフォームすることで、既存住宅を新築同様の省エネ住宅

へ転換する高性能住宅工法「まるごと断熱リフォーム」を開発し、今年10月から発売を開始しました。既存住宅の構造部分や地中の配管等の使える部分を活かし、性能の低い断熱材や古くなった外装・内装・設備等を一新することで、リーズナブルに住宅の高性能化を実現します。現在、日本では省エネ基準に満たない住宅が90%にのぼるため、既存住宅の高性能化を実現することで、脱炭素社会の実現にも貢献してまいります。

海外事業の成長促進

海外市場での堅調かつ持続可能な成

長は、LIXILの長期的な成功に欠かせない重要な要素であり、LIXILの優先課題の一つです。新規市場の開拓やグローバルシナジーの向上、商品ラインナップの拡充に注力し、強固な基盤を確立しています。

例えば、日本で20年来蓄積してきた蛇口一体型の浄水器の技術を、American Standardから発売された浄水器内蔵型のキッチン水栓に活用するなど、日本で培った技術と専門知識を海外でも活用し、グローバルシナジーを実現した製品の売上を拡大しています。

また、当社が展開するブランドの魅力をより多くの人に伝え、デジタルを活用することで新たな価値を提供する取り組みが進んでいます。GROHEブランドでは、製品や技術を紹介する動画コンテンツやオンライン商談など、ブランド体験をオンラインで提供するデジタルプラットフォーム「GROHE X」を立ち上げました。来年度には日本でも同様のプラットフォームを展開予定で、今後も国内外でデジタルトランスフォーメーションを推進します。日本と海外で相互に技術交流し、グローバルでのシナジーを向上させています。

気候変動の適応に向けた取り組み

LIXILでは、2050年までにCO₂排出量実質ゼロの達成を目指し、事業活動や商品、サービスを通じて気候変動の緩和と適応に取り組んでいます。

P.05～参照

この一環として、地球温暖化の緩和につながる断熱窓などのエコ商品をより広く普及させながら、子どもたちを室内熱中症から守ることを目的とした「窓からECOシェアプロジェクト」を実施しています。2019年から開始したこ

のプロジェクトは、これまでに468世帯の家庭の1年間のCO₂排出量に相当する1,943トンのCO₂の削減に貢献しました。

また、LIXIL独自の技術を活かしたIoTホームリンク「Life Assist2」を使用し、住宅内の熱中症対策と空気質管理の有効性を実証するプロジェクトをLIXIL 有明工場のある熊本県長洲町で開始しました。このプロジェクトは、国土交通省が公募する「令和3年度 サステナブル建築物等先導事業(次世代住宅型)」に採択されたものであり、住まいの課題解決に貢献します。

国連ハイレベル政治フォーラムに唯一の民間企業として参加し SATOを紹介

LIXILは2025年までに1億人の衛生環境を改善することを目標としています。このたび、これまでの継続的な活動が評価され、SDGs(持続可能な開発目標)達成へ向けた日本の取り組みの一例として、外務省による「持続可能な開発のための国連ハイレベル政治フォーラム(HLPF)」に日本を代表する唯一の民間企業として参加し、開発途上国

向け簡易式トイレシステム「SATO」の取り組みを紹介しました。

当社は、独自の水まわりの技術とグローバルなサプライチェーンを活かし、国際協力機構(JICA)や国際連合児童基金(UNICEF)などのパートナーと連携しながら、世界中でトイレと手洗いの普及に取り組んでおり、これまでに「SATO」と、「SATO Tap」の提供を通じて、41カ国で約2,500万人の衛生環境の改善に貢献しています。

株主の皆さまへ

LIXILは、持続的な成長を実現し、存在意義である「世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現」を追求しています。未来を見据えた投資を行い、利益を生み出し、社会に貢献する企業になるため、今後も変革を推進し、将来の成長基盤を構築していきます。

株主の皆さまには、引き続き、温かきご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



LIXILが提案する

豊かで快適な暮らし

LIXILは、「世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現」のため、トイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、玄関ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。また、調達から生産、流通、製品の使用・廃棄やサービスの利用まで、ライフサイクル全体を考慮して、環境保全に努めています。



ZERO CARBON
AND
CIRCULAR
LIVING

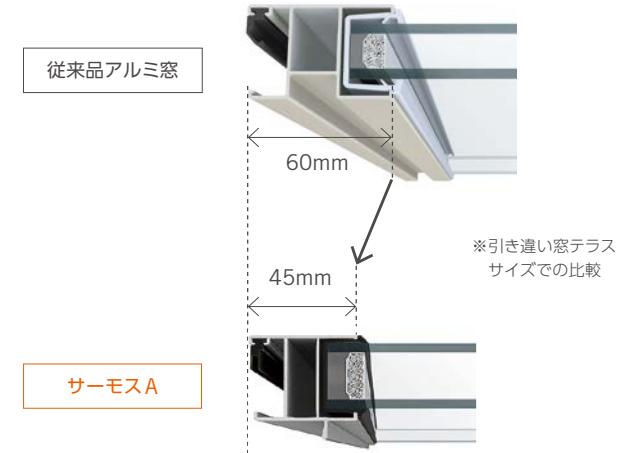


人も地球も快適に

住まいのエネルギー消費量のうち、最も熱の出入りが大きいところが開口部＝窓・ドアです。開口部の断熱性を高めることで消費電力を抑え、環境への負荷軽減につながります。

国内最高水準の断熱性能を実現したアルミ窓「サーモスA」

「サーモスA」は、日本の住宅の高性能化と、豊かで快適な暮らしの実現のため、国内最高水準の断熱性能を兼ね備えたアルミ窓です。フレームをスリム化し、熱のロスを低減することで、断熱性を向上させています。樹脂アングルを採用しているため結露発生を軽減し、冬の部屋の冷え込みを緩和します。



理想の窓を“知る”サイト 窓情報ポータルサイト「マドシル」

<https://www.biz-lixil.com/madoshil/>

世界トップクラスの断熱性能 樹脂窓「EW」新発売

「EW」は、脱炭素社会ならびに循環型経済に貢献すべく、先進的な樹脂・押し出しサイクル技術を持つプロファイン社（ドイツ）と共同開発した樹脂窓です。世界トップクラスの断熱性能（熱貫流率 $0.79\text{W/m}^2\cdot\text{K}^*$ ）によって住宅の高性能化を実現し、また樹脂フレームのリサイクル材使用率を従来品より約3倍に拡大するなど、資源の循環利用、樹脂窓のリサイクルシステム構築に貢献しています。

*縦すべり出し窓(TF)16513 トリプルガラス(クリプトンガス入り)内外Low-Eグリーン(3-12-3-12-3)アングル付・アングルなし(アングル付同等納まり)JIS A 4710-2004による社内試験値



樹脂窓「EW」

住宅の高性能化に向け これからのスタンダードとなる ハイブリッド窓「サーモスII-H/L」

「サーモスII-H/L」は、TOSTEM ブランドが体現する情緒的価値と、断熱性、気密性、操作性等の機能的価値を追求した“これからのスタンダード”となる窓です。装飾窓を大きく刷新し、オペレーターハンドル仕様の構造を見直すことで、高い断熱性（熱貫流率 $1.66\text{W/m}^2\cdot\text{K}$ ）と気密性を実現しました。アジア共通のプラットフォームで開発・生産体制を確立し、グローバルでの展開も視野に入れ、アジア市場でも新シリーズを展開予定です。



ハイブリッド窓「サーモスII-H/L」

LIXIL
製品で

快適な暮らしをより長く

今の住まいを、メンテナンスやアップグレードしながら大切に使うことで、より快適に、長く住み続けることができます。リフォームは、住まいからの廃棄物を減らし、地球環境の保護にもつながります。

シャワーヘッド 「エコアクアシャワーSPA」新発売

「エコアクアシャワーSPA」は、3つの吐水機能を搭載した多機能シャワーです。シルクミスト吐水は絹のようななめらかさでやさしく皮脂汚れを洗い流し、パワーマッサージ吐水は心地よいマッサージ感が得られます。アクアスプレー吐水は空気を含んだ大粒の水滴により、ボリュームのある浴び心地と高い節水効果の両立を実現しています。



キッチン用タッチレス水栓 「ナビッシュ」累計販売50万台を突破

「ナビッシュ」は、センサーに手をかざすだけで吐水／止水ができ、汚れた手でも触らずに操作できる利便性のほか、環境に配慮した水栓でもあります。こまめに水の出し止めができるので、通常のシングルレバー混合水栓に比べ、1台あたり年間約30%^{*1}の節水・省エネが実現できます。また、累計販売台数50万台を突破し、環境配慮を試算すると約183億3000万L^{*2}の節水を実現したことになります。

*1 ナビッシュハンズフリー水栓の場合

*2 試算条件：(国研)建築研究所「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」における、「東京・4人世帯」の条件にて算出。【比較品】整流吐水型シングルレバー【最適流量 6L/分】ナビッシュ【最適流量 5L/分】【引用元】(国研)建築研究所「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」、「(一社)日本パルプ工業会自主基準」および自社基準と過去のナビッシュ販売数量50万台と販売時期から使用期間を想定して当社にて試算。





断熱改修工法「スーパーウォール(SW)工法リフォーム」

高い断熱性を実現 「スーパーウォール(SW)工法 リフォーム」

「SW工法リフォーム」は、家に住まいながら一棟丸ごとの改修を実現する断熱改修工法です。壁や床を一度壊すような大がかりな工事が不要で、断熱性能の高いパネルを使用し、国内トップクラスの断熱性能水準まで性能アップが可能であり、住まいのエネルギー効率を向上させます。気密・断熱性能を高めることで、家の中の温度差が少なくなり、夏も冬も外気温に左右されにくい快適な室内環境が実現できます。

IoTを活用したスマートホーム 「Life Assist2」を新発売

LIXILは独自のIoT技術を活かし、成長を続けているスマートホーム市場での展開を強化しています。「Life Assist2」はインターネットと接続し、住宅設備機器・建材や家電とつなげるだけでマイホームをスマートホーム化でき、簡単な操作で家中の機器がコントロール可能になります。LIXILは国土交通省公募の「令和3年度サステナブル建築物等先導事業(次世代住宅型)」にも選出されており、「Life Assist2」を活用した住宅内の熱中症対策など、住まいにおける課題解決に向けて取り組んでいます。



IoT ホーム Link「Life Assist2」

外出先からスマホで操作



家中の機器をまとめて操作



※対応する機器との接続が必要となります。

LIXILの
約束

住まいで未来を変える会社へ

世界中の人びと、そして未来の子どもたちに、豊かで快適な住まいを届けるため、LIXILは地球との調和を大切に、「CO₂ゼロと循環型の暮らし」の実現に向けて取り組んでいます。

LIXILがSDGsに貢献できること

LIXILのコーポレート・レスポンシビリティ(CR)戦略では、世界的な社会課題のうち緊急性が高く、LIXIL固有の専門性を活かし、事業活動を通じて貢献できる領域として①グローバルな衛生課題の解決、②水の保全と環境保護、③多様性の尊重を3つの優先取り組み分野に定めています。この優先取り組み分野は、2030年までの達成を目指す国連の持続可能な開発目標(SDGs)にも密接に関連しており、LIXILは、CR戦略の推進を通じて、SDGsの達成に貢献しています。



サッカー元日本代表内田篤人氏を LIXIL SDGsアンバサダーに任命

LIXILはCR戦略によるSDGsへの貢献に向けて、さまざまな取り組みを実施してきました。2020年12月には「LIXIL×SDGs NEXT STAGE」を開始し、より多くの方にグローバルな課題に目を向けていただけるよう、サッカー元日本代表の内田篤人氏をLIXIL SDGsアンバサダーに迎えました。発信力のある内田氏と協力し、小学校での特別授業やYouTube、ソーシャルメディアでの発信を通じてLIXILのSDGsへの貢献に対する理解を一層広めることで、取り組みを加速していきます。



営業報告

主な経営指数の推移(連結、国際会計基準)

	当第2四半期 累計期間 自2021年4月 1日 至2021年9月30日	前第2四半期 累計期間 自2020年4月 1日 至2020年9月30日	前期 自2020年4月 1日 至2021年3月31日
売上収益(億円)	6,962	6,605	13,783
事業利益*(億円)	373	154	573
営業利益(億円)	372	120	358
親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益(億円)	257	109	330
資本合計(億円)	5,689	5,440	5,548
資産合計(億円)	17,116	21,336	17,418
営業活動によるキャッシュ・フロー(億円)	416	644	1,510
投資活動によるキャッシュ・フロー(億円)	△160	△860	△542
財務活動によるキャッシュ・フロー(億円)	△380	777	△934
現金及び現金同等物の四半期(当期)末残高(億円)	989	1,500	1,111
親会社所有者帰属持分比率(%)	33.1	23.8	31.7
親会社所有者帰属持分当期利益率[ROE](%)	—	—	6.3
基本的1株当たり四半期(当期)利益[EPS](円)	88.46	37.47	113.92
1株当たり親会社所有者帰属持分[BPS](円)	1,948.85	1,753.13	1,902.89
1株当たり四半期(年間)配当金(円)	40	35	75

※日本会計基準における「営業利益」と同等、事業利益=売上収益-売上原価-販管費

売上収益の推移

(単位: 億円)



事業利益の推移

(単位: 億円)

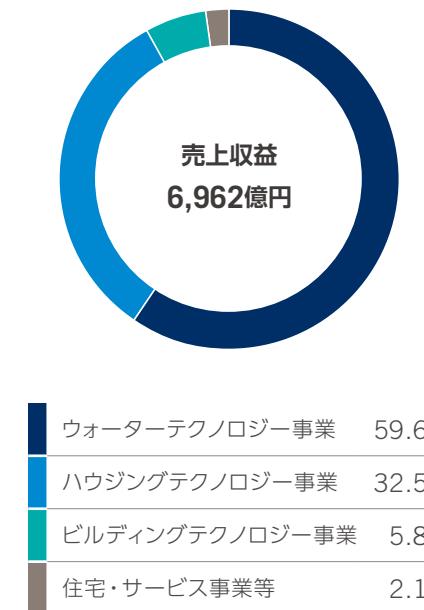


セグメント情報

セグメント別の営業状況

	当第2四半期 累計期間 (億円)	前第2四半期 累計期間 (億円)	前年 同期比 (%)
売上収益	6,962	6,605	5.4
ウォーターテクノロジー事業	4,205	3,656	15.0
ハウジングテクノロジー事業	2,297	2,356	△2.5
ビルディングテクノロジー事業	406	463	△12.2
住宅・サービス事業等	150	229	△34.6
(調整額)	△96	△99	—
事業利益	373	154	142.5
ウォーターテクノロジー事業	408	199	105.4
ハウジングテクノロジー事業	182	136	34.3
ビルディングテクノロジー事業	11	4	148.5
住宅・サービス事業等	△7	10	—
(調整額)	△221	△195	—

売上収益内訳(当上期)



セグメント情報

ウォーターテクノロジー事業



水まわり事業は旺盛な需要に支えられました。海外事業は、欧米を中心に堅調に推移しました。日本事業は、リフォームおよび中高級品価格帯商品の売上が伸び、特に衛生への関心の高まりにより、タッチレス水栓、および同水栓を搭載したキッチン・洗面化粧台の好調が続いています。当事業の売上収益は15.0%増収の4,205億円、事業利益は105.4%増益の408億円となりました。(写真：LIXILのシステムバスルーム「SPAGE」)

売上収益・事業利益の推移

(単位：億円)

■ 売上収益 (左軸)
□ 事業利益 (右軸)



ハウジングテクノロジー事業



売上収益は2.5%減収の2,297億円となりましたが、前年の子会社売却影響を除けば実質2%増収となりました。“ニューノーマル”への対応、在宅時間が増えたことを背景にリフォーム需要は堅調に推移しています。事業利益は、原材料価格が高騰したものの、体質強化施策の進捗、生産面および業務面における生産性の向上により、34.3%増益の182億円となりました。(写真：LIXILのガーデンスペース商品「ガーデンファニチャー」)

売上収益・事業利益の推移

(単位：億円)

■ 売上収益 (左軸)
□ 事業利益 (右軸)



ビルディングテクノロジー事業



大型物件を中心とした工程見直しに伴う建材供給時期の遅れにより、売上収益は12.2%減収の406億円となりました。一方、事業利益は、販管費削減・体質強化への継続的取り組みにより、収益性が改善し、148.5%増益の11億円となりました。(写真：環境に配慮した設計と美しいデザインの両立が評価され、「2021年度グッドデザイン賞」を受賞したLIXIL本社ビルの新棟「HOSHI」)

売上収益・事業利益の推移

(単位：億円)

■ 売上収益 (左軸)
□ 事業利益 (右軸)



住宅・サービス事業等

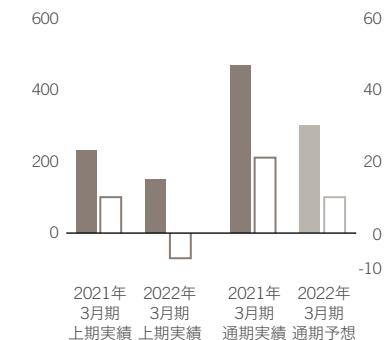


売上収益は34.6%減収の150億円となりましたが、前年の事業売却等の影響を除けば、概ね前年と同水準の売上収益でした。事業利益については、販管費を抑制するも、資材価格の高騰により、7億円の赤字となりました。(株)LIXIL住宅研究所の「すごい家。」が、子どもや子育てに関わる人々に寄与する製品、建築・空間などとして評価され、第15回キッズデザイン賞を受賞しました。(写真：(株)LIXIL住宅研究所「すごい家。」内覧)

売上収益・事業利益の推移

(単位：億円)

■ 売上収益 (左軸)
□ 事業利益 (右軸)



株主さまアンケート結果

多数のご回答をいただき、誠にありがとうございました。貴重なご意見・ご要望は今後の経営やIR活動に活かしてまいります。いただいたお問い合わせ・ご意見の中から一部をご紹介します。

株主さまからのお問い合わせにお答えします

教えて!



単元未満株式を保有していますが、市場で売買できず困っています。どうしたらいいでしょうか?

証券市場で売買できない単元未満株式を、従来より当社に**買い取るよう請求(買取り請求)**あるいは1単元(100株)の株式にするために**必要な数の株式を買い増すよう請求(買増し請求)**することができます。詳細は同封のご案内書類またはウェブサイトをご覧ください。

<https://www.lixil.com/jp/investor/share/unit.html>

教えて!



取締役が業界外から多数入っていますが、少し偏っていないか心配です。

当社取締役にとって特に重要と考えられる経験・知見・専門性について定める、スキルマトリックスの適正なバランスや十分な多様性を確保するとともに、取締役会・委員会において、より実効性と透明性の高い監督機能を構築する観点から、取締役を選定しております。

なお、社外取締役のサクセッションプランは、当社の取締役会の継続性と構成における重要な位置付けであるとの認識のもと、指名委員会にて継続して検討を進めております。

教えて!



SDGsへの取り組みを教えてください。もっとアピールしてもよいのではないのでしょうか?

LIXILでは「世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現」という企業としての存在意義(LIXIL Purpose)の実現を目指して、責任ある持続可能なイノベーションを追求し、安全で快適な製品やサービスの開発に取り組んでおります。LIXILでは、SDGsの考え方を、経営判断に際する大きな指針にしています。環境に配慮した魅力的な商品を通じてSDGsを実践するとともに、以下の活動を実施しています。

LIXILがSDGsに貢献できること

コーポレート・レスポンスビリティへの考え方と、3つの優先取り組み分野を通じたSDGsへの貢献についてご紹介

<https://s.lixil.com/lixil-sdgs>



LIXIL×SDGs Next Stage

SDGsをわかりやすく、身近な事柄として解説・実践

<https://s.lixil.com/sdgsnext>



SATOのグローバル展開

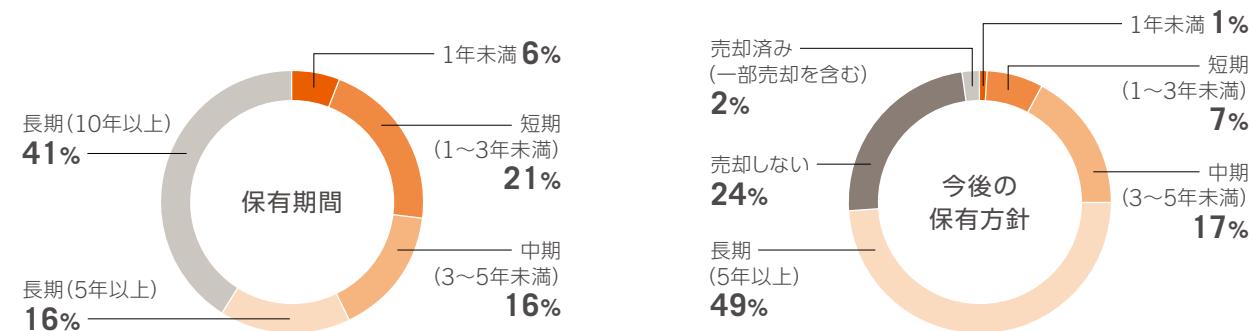
41カ国で約510万台を出荷し、約2,500万人の衛生環境改善に貢献(2021年7月現在)

https://s.lixil.com/CR2021_sato



ご回答者の保有期間・保有方針について

ご回答者の半数が5年以上の長期保有者であり、今後も長期での保有をお考えです。



いただいたご意見・ご要望の一部をご紹介します

- 株主還元の充実を期待します。
- 経営のリーダーシップが明確になり、業績も改善してよかったですと思います。
- LIXILと言えば誰もが頭に浮かぶ製品を作ってください。
- 株主通信は商品やサービスの解説ページをのせて、株主に対して会社理解が深まるようにしてほしいです。
- 環境のためにも、アンケートはWebで回答できるようにしてほしいです。

当社では、株主さまからの貴重なご意見・ご要望をコミュニケーション活動の参考とさせて頂いております。今般、こうしたコミュニケーションについても地球環境等を配慮した省資源化に努めて欲しい旨のご要望を多くお寄せ頂きました。係るご意見を踏まえ、改めて慎重に検討いたしました結果、当社では、今後、株主さまアンケートを電子化すると共に、2021年7月21日までにアンケートをご投函いただいた株主さまへの送付を最終として、カレンダーの配布を廃止することといたしました。また、期末「株主通信」につきましても、「定時株主総会招集ご通知」に合冊化し、将来的な電子発行に向けて準備を進めてまいります。何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式の状況 (2021年9月30日現在)

株式数および株主数

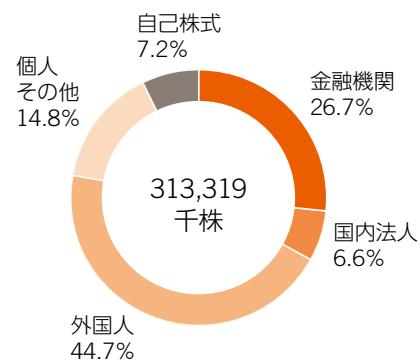
発行可能株式総数	1,300,000,000 株
発行済株式の総数(自己株式22,616,256株を除く)	290,702,903 株
株主の総数	43,156 名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	36,533*	12.57%
JP MORGAN CHASE BANK 385632 (常任代理人(株)みずほ銀行決済営業部)	21,756	7.48%
(株)日本カストディ銀行(信託口)	10,715*	3.69%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	9,735	3.35%
LIXIL従業員持株会	6,355	2.19%
STATE STREET BANK CLIENT OMNIBUS OM04 (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	5,739	1.97%
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) SUB A/C AMERICAN CLIENTS(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	5,478	1.88%
第一生命保険(株)(常任代理人(株)日本カストディ銀行)	4,724	1.63%
(株)日本カストディ銀行(信託口9)	4,681*	1.61%
BBH FOR MATTHEWS ASIA DIVIDEND FUND (常任代理人(株)三菱UFJ銀行)	4,632	1.59%

(注) 1. 上記の他に当社は自己株式22,616千株を所有しています。持株比率は、自己株式を控除して計算しています。
2. ※はすべて信託業務に係るものです。

所有者別分布状況



金融機関	83,577千株
国内法人	20,604千株
外国人	140,028千株
個人その他	46,492千株
自己株式	22,616千株
合計	313,319千株

会社概要

会社概要

社名	株式会社LIXIL
英文社名	LIXIL Corporation
設立年月日	1949(昭和24)年9月19日
本店	〒136-8535 東京都江東区大島二丁目1番1号
資本金	68,418百万円
決算期	3月31日
従業員数	連結 51,924名 (2021年9月30日現在)
主な事業内容	住宅およびビルの建材・設備機器の製造・販売、その他住宅に付帯する事業およびその関連サービス業

取締役

取締役	瀬戸 欣哉
取締役	松本 佐千夫
取締役	ファ・ジン・ソン・モンテサーノ
社外取締役	内堀 民雄
社外取締役	鈴木 輝夫
社外取締役	西浦 裕二
社外取締役	濱口 大輔
社外取締役	松崎 正年
社外取締役	金野 志保
社外取締役	綿引 万里子

執行役

代表執行役社長	瀬戸 欣哉
代表執行役副社長	松本 佐千夫
執行役専務	ファ・ジン・ソン・モンテサーノ
執行役専務	金澤 祐悟
執行役専務	ビジョイ・モハン
執行役専務	吉田 聡
執行役専務	大西 博之
執行役専務	君嶋 祥子

外部評価

Member of
Dow Jones Sustainability Indices
Powered by the S&P Global CSA

DJSI World Index
構成銘柄2年連続選定
DJSI Asia Pacific Index
構成銘柄4年連続選定



CDPサプライヤー・エンゲージメント評価
「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボード」に選定



FTSE4Good Index Series,
FTSE Blossom Japan Index
構成銘柄5年連続選定



なでしこ銘柄
4年連続選定

2021 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

「MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)」
構成銘柄5年連続選定



女性活躍推進法に基づく
「えるぼし」認定



MSCI ESG Ratings
Aランク選定



健康経営優良法人
5年連続選定

免責事項

この株主通信には、(株)LIXILの将来についての計画と予測の記述が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績はさまざまな重要な要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

報告書 発行のお知らせ

ウェブサイトに掲載している下記デジタル版の報告書では、より詳細な情報を掲載しています。ぜひご覧ください。



統合報告書 2021 (旧 アニュアルレポート)



https://s.lixil.com/jp_integratedr2021



本編

データブック

コーポレート・レスポンスビルリティ報告 2021



本編

https://s.lixil.com/jp_corporaterr2021

データブック

https://s.lixil.com/jp_crr_data2021

お問い合わせ先

株式についてのお問い合わせ

- 三菱UFJ信託銀行：証券代行部 0120-232-711
- LIXIL：03-3638-8111

本誌の内容についてのお問い合わせ

- LIXIL：IR室 03-6706-7001

株式会社LIXILの商品に関するお問い合わせ

お客さま相談センターのフリーダイヤルで承ります。商品により電話番号が異なりますのでご注意ください。
受付時間 平日 9:00~18:00、土日祝日 9:00~17:00(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

※新型コロナウイルス感染症対策のため一部業務において人員を減らして対応しております。そのため、お電話でお待ちいただいたり、回答にお時間をいただくことがございます。何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

- トイレ、化粧台、浴室商品、タイル商品 ☎ 0120-179-400
- キッチン商品 ☎ 0120-190-521
- サッシ、ドア、エクステリア ☎ 0120-126-001

株式会社 LIXIL

本店 : 東京都江東区大島二丁目1番1号
ホームページ : <https://www.lixil.com/jp/>